

# 《立川基地跡地昭島地区における植物保全方策》

## ～ I：植物保全に関わる基本的考え方 ～

### 【計画地における緑に求められる役割】

- ① 都市環境保全・防災機能の向上に寄与する緑
- ② 生物多様性の核となる緑
- ③ 生活の質の向上に資する緑

### 【計画地が目指すべき緑のあり方】

年月をかけて自然の力により育まれた  
**地域性の高い緑の保全**

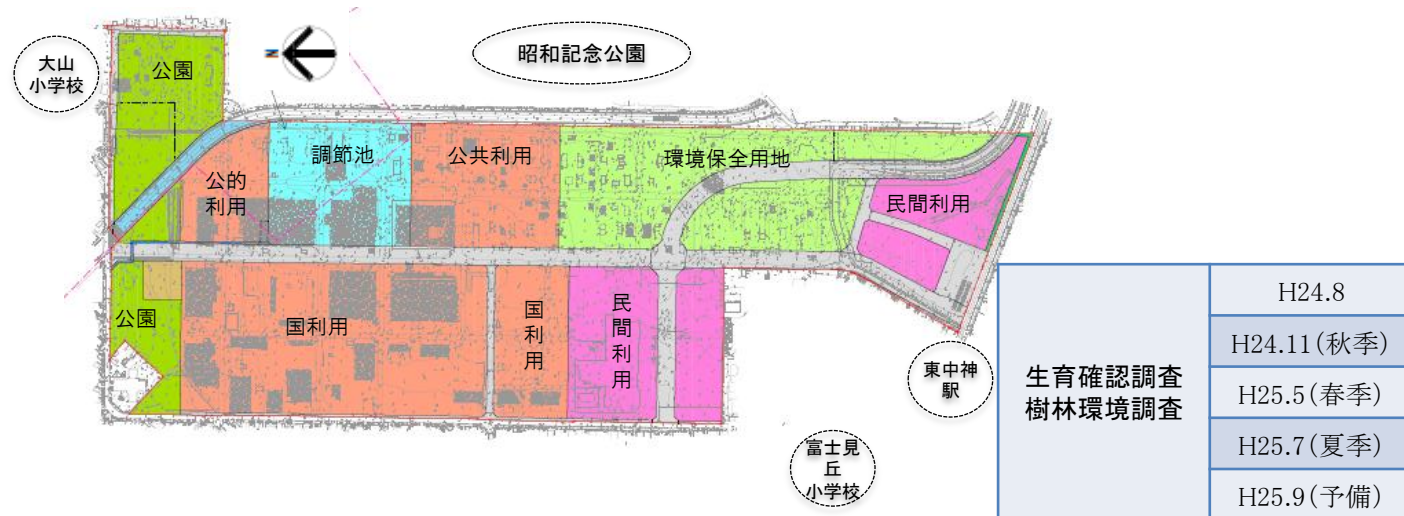
### 【検討の基本的考え方】

- ① 地域性の高い樹木(大径樹木)、地域性の高い植物に分けて検討。
- ② 現地保存と移植保存の両面から検討。
- ③ 生育する環境の検証と移植等にあたっての具体的な方策を整理・検討。

### 【計画地周辺で見られる植生】

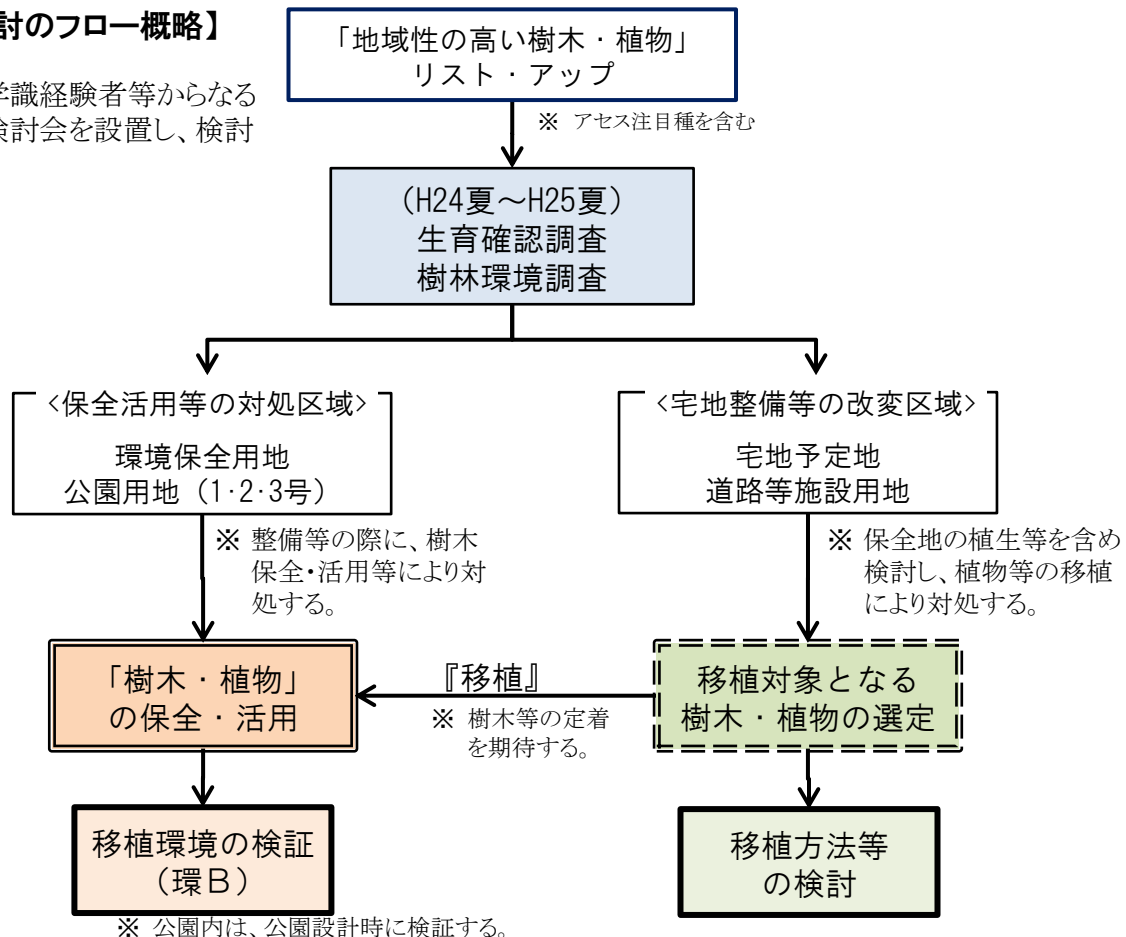
コナラ・クヌギ 群集	台地から丘陵地にかけて広く分布するコナラとクヌギを主体とする二次林群落であり、定期的な伐採や下刈り、落葉かきなどの強度の人為的干渉の下に維持されてきた。群集を特徴づける構成種として、クヌギ、スイカズラ、アマチャヅル、シオデ、エノキ等があげられる。
シラカシ 群集	シラカシに代表される。亜高木層にはシラカシ、アラカシ、タブノキ等の常緑広葉樹が、低木層、草本層にはシラカシの幼木や実生、ヒサカキ、ネズミモチ、シロダモ、アオキ、シュロ、キツタ等のヤブツバキクラス域の主群が多い。
ムクノキ・エノキ 群集	高木層にムクノキ、エノキ、ケヤキなどニレ科の夏緑広葉樹が優占しているが、林床の亜高木層、低木層、草本層にはシロダモ、アオキ、シュロ、ヤブラン、ジャノヒゲ、キツタなどヤブツバキクラスの常緑植物が多数混生するのが一般的である。 関東地方に現存しているムクノキ・エノキ群集は、かつて河川の氾濫に伴う耕作土壌の流亡を防ぐ目的で植栽されたマダケ、ハチクなどの竹林やクヌギ林などが放置された後に、ムクノキ、エノキなどの陽樹が侵入し、半自然的に更新成立した土地の終局群落とみなすことができる。ムクノキ・エノキ群集は、さらに生育立地の安定化、土壌の乾性化に伴ってイノデ・タブノキ群集に遷移すると考えられる。[「日本植生誌・関東(宮脇編1986)」から抜粋]

### 【土地利用計画】

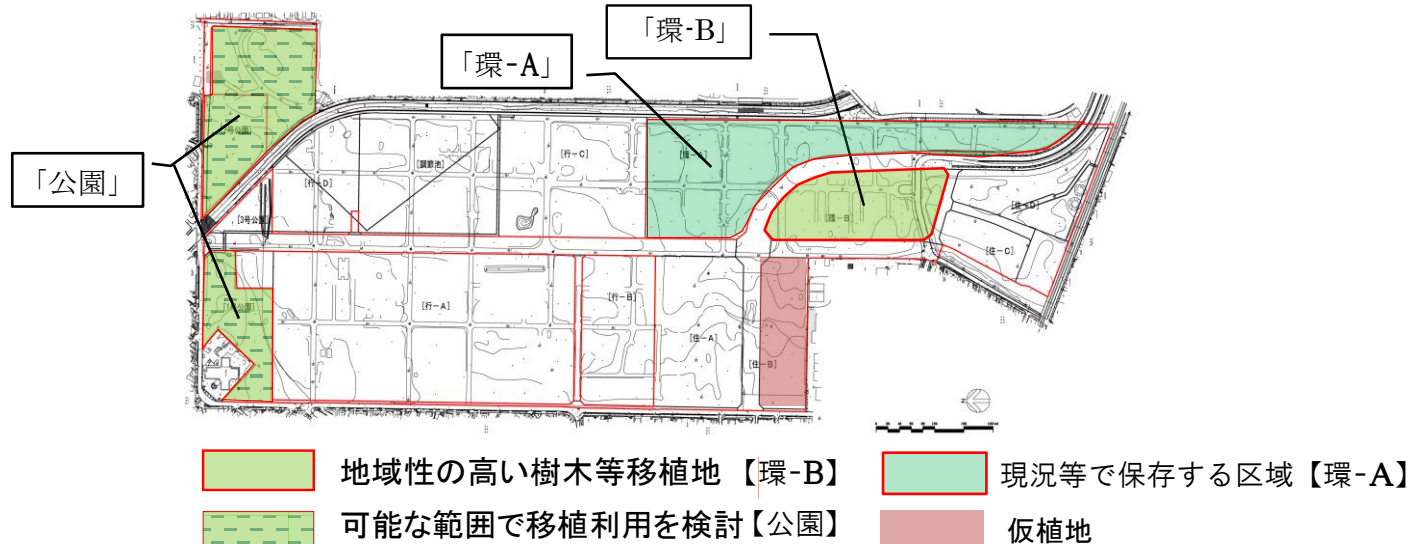


### 【検討のフロー概略】

- ・ 学識経験者等からなる検討会を設置し、検討

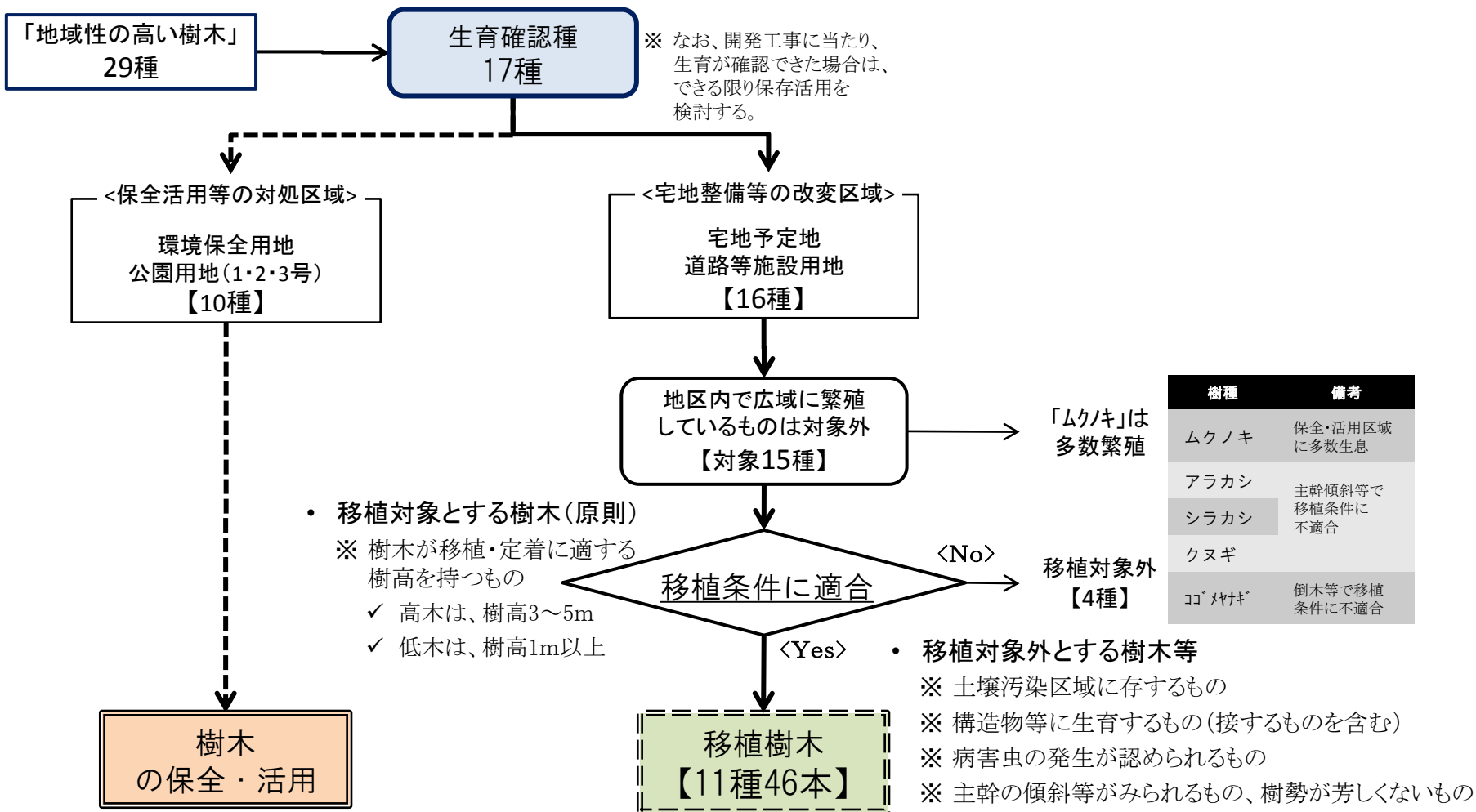


### 【樹木・植物の保全・活用の範囲(移植等)】

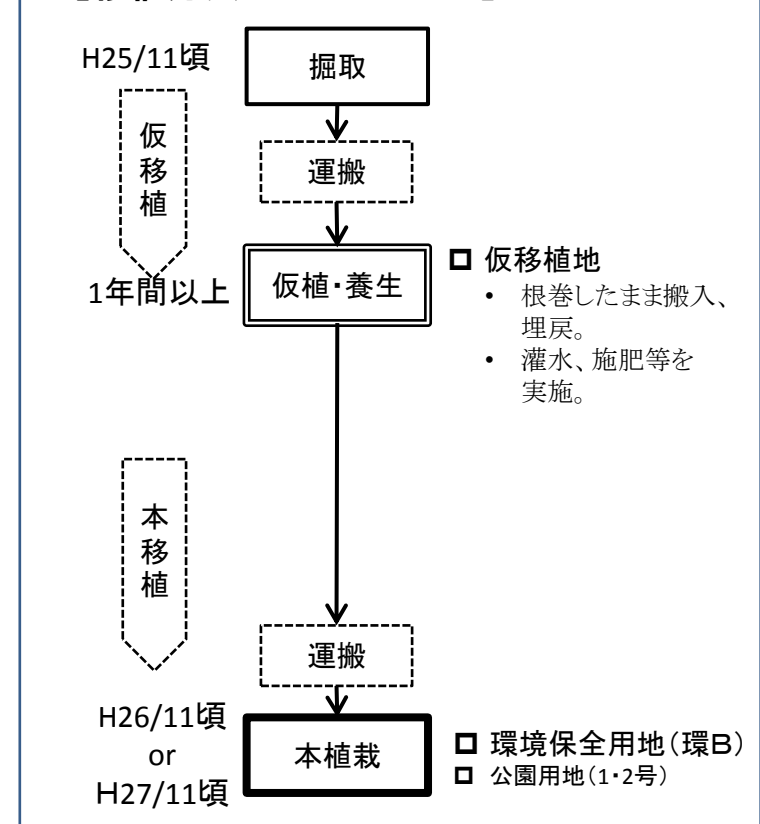


## ～ II： 地域性の高い樹木(選定と移植方法等) ～

### 【移植等樹木の選定】



### 【移植方法とスケジュール】



保存活用する樹種		備考
高木	アカマツ	
	シラカシ	改変区域からの移植無
	ムクノキ	地域内で広域に繁殖
	エノキ	
	ミズキ	
	エゴノキ	
	コゴメヤナギ	改変区域からの移植無
低木	ムラサキジキブ	改変区域に無
	ウグイスカズラ	
	ガマズミ	

移植対象樹種		本数	
高木	アカマツ	4	
	スダジイ	5	
	コナラ	6	
	エノキ	1	
	ウワミズザクラ	2	
	ミズキ	12	
	クマノミズキ	1	
	エゴノキ	4	
	低木	ヤマコウバシ	1
		ウグイスカズラ	2
ガマズミ		8	
計	46		

### 【大径木の移植】

#### ・ 移植対象木の絞り込みの考え方

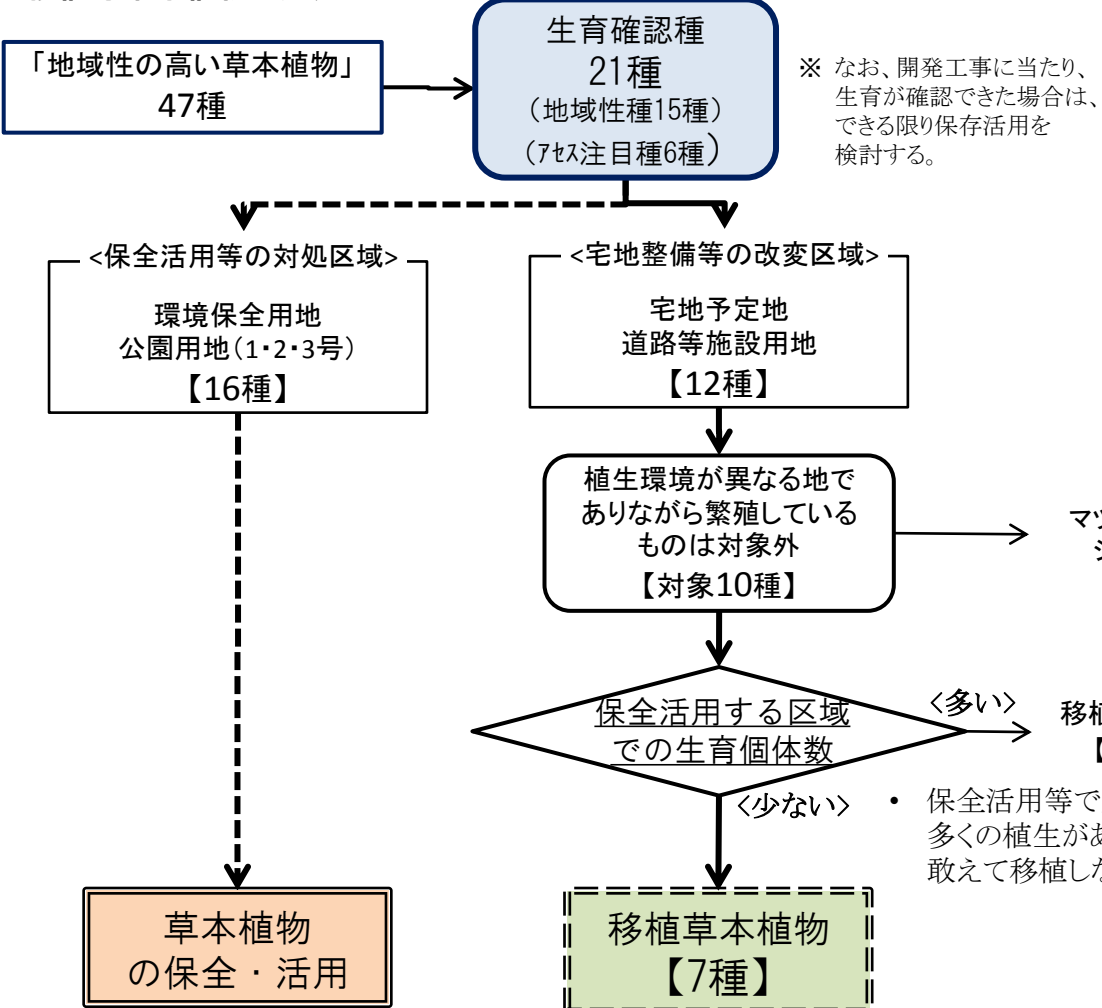
- 保全すべき重要な樹木(景観木となりえる)を抽出の上、
- ※ 樹形、樹勢ともに優れ、健全度B1以上の樹木
- ※ 土壌汚染区域に存するものは、除く。
- ※ オオタカの営巣期に移植等が必要となるものは、除く。
- ※ 樹木へのダメージを最小限に抑えるため、移植地までの移動距離をできるだけ短くする。

	樹高 (m)	幹周 (m)	樹勢	樹形	健全度
ヤマザクラ	12	1.9	2	2	B1
エノキ	24	2.3	2	2	B1

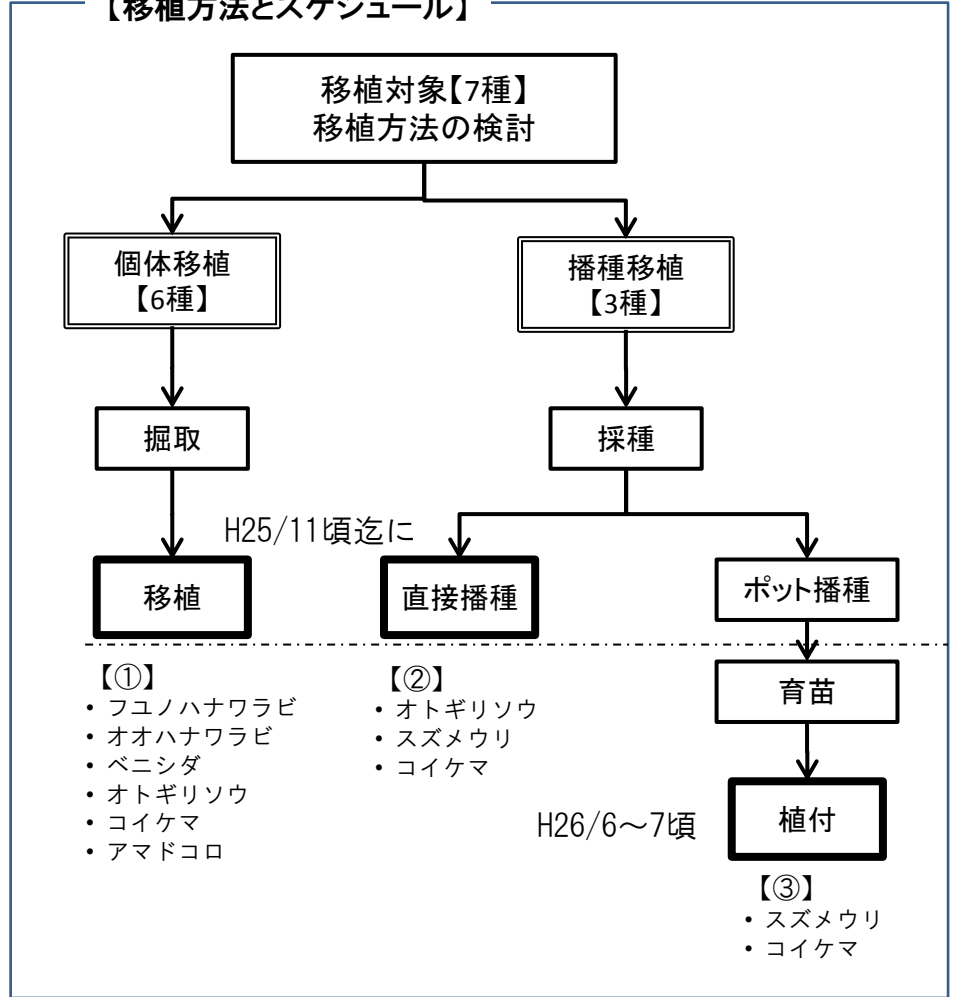


## ～ III： 地域性の高い草本植物(選定と移植方法等) ～

### 【移植等草本植物の選定】

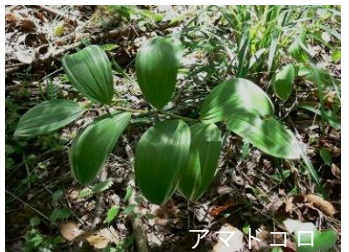


### 【移植方法とスケジュール】



保存・活用種
マツバラ(*)
ナツノハナワラビ*
ナガホノハナワラビ(*)
フユノハナワラビ
オオハナワラビ
ヤマイタチシダ(*)
クサノソテツ*
シンミズヒキ(*)
ミツバツチグリ(*)
スズメウリ
イヌゴマ(*)
ニガクサ(*)
ナンバンギセル(*)
ヒメヤブラン*
ヤブミョウガ(*)
サイハイラン(*)

移植対象種	保全・活用区域で 生息確認されていない種
フユノハナワラビ	
オオハナワラビ	
ベニシダ	*
オトギリソウ	*
スズメウリ	
コイケマ	*
アマドコロ	*



※ 下線は、アセス注目種  
※ (\*)印は、保全・活用区域のみに生息

	移植手法	イメージ
① 個体移植	<ul style="list-style-type: none"> <li>自生地より、個体を掘り取り、移植地へ直接植え込み</li> </ul>	<p>自生地より個体を掘り取り</p> <p>移植地への植込み</p>
② 直接播種	<ul style="list-style-type: none"> <li>採取した種子を、直接、移植地に蒔き、発芽させる。</li> </ul>	<p>種採種</p> <p>移植地への直接播種</p> <p>(播種後)</p>
③ ポット播種	<ul style="list-style-type: none"> <li>種子・胞子を採取し、育てた苗を移植地に埋込む。</li> </ul>	<p>種採種</p> <p>播種</p> <p>育苗</p> <p>移植地への植込み</p>

◆ 参考 ◆ 地域性の高い樹木・草本木の選定(確認種からのリストアップ)

【 樹 木 】

H20年度・国有地自然調査における確認種リスト

【計画地が目指すべき緑のあり方】  
年月をかけて自然の力により育まれた  
**地域性の高い緑の保全**

植物保全検討会にて、審議・選定  
※ 検討会メンバー：学識者3名 他関係機関

地域性の高い樹木			生態	生育確認(H24・夏~H25・夏)					
No	科目	種目	アセス 注目種	高木 性	環A・B	1号公園	2号公園	3号公園	変更 区域等
1	マツ	モミ		○					
2		アカマツ		○					
3	ヤナギ	コゴメヤナギ	○	○					
4	カバノキ	クマシデ		○					
5		クリ		○					
6		スダジイ		○					
7		アカガシ		○					
8	ブナ	クヌギ		○					
9		アラカシ		○					
10		シラカシ		○	●				
11		コナラ		○					
12	ニレ	ムクノキ		○	●	●	●	●	●
13		エノキ		○	●	●	●	●	●
14	クスノキ	ヤブニッケイ		○					
15		ヤマコウバシ		○					
16		タブノキ		○					
17		カマツカ		○					
18	バラ	イヌザクラ		○					
19		ウワミズザクラ		○					
20	モチノキ	モチノキ		○					
21	グミ	アキグミ		○					
22	ミズキ	ミズキ		○	●	●	●	●	●
23		クマノミズキ		○					
24	エゴノキ	エゴノキ		○					
25	ツツジ	ヤマツツジ		○					
26	クマツツラ	ムラサキシキブ		○					
27		ヤマウグイスカズラ		○					
28	スイカツラ	ウグイスカズラ		○	●	●	●	●	●
29		ガマズミ		○	●	●	●	●	●
計(種)					6	3	7	9	16

※なお、その他の既存樹木についても、公園利用計画によって、保存等を図る。

【原則】  
現況  
保存

公園計画の際、  
保存等に配慮

公園利用計画上、  
移植が必要となった  
場合における  
移植対象樹木(検討済)

地域性の高い樹木			生態	移植等保全				
No	科目	種目	アセス 注目種	高木 性	※移植対策が可能な大きさの樹木 (以下を除く) ・主幹の著しい傾斜がある。 ・枝葉が著しく少ない。 ・病害虫の懸念がある。 ・土壌汚染区域に位置する。 ・コンクリート構造物等に生育している。 ・他の樹木に接して生育している。	2号公園	3号公園	変更 区域等
2	モミ	アカマツ		○		-	5	
3	ヤナギ	コゴメヤナギ	○	○		7	-	
10	ブナ	シラカシ		○		8	0	
12	ニレ	ムクノキ		○		△	△	多く生息
13		エノキ		○		0	0	
22	ミズキ	ミズキ		○		2	0	
24	エゴノキ	エゴノキ		○		-	1	
26	クマツツラ	ムラサキシキブ		○		-	1	
28	スイカツラ	ウグイスカズラ		○		1	2	
29		ガマズミ		○		3	0	

宅地整備等の対処区域における樹木の移植(保全)方針

【 草 本 木 】

H20年度・国有地自然調査における確認種リスト

【計画地が目指すべき緑のあり方】  
年月をかけて自然の力により育まれた  
**地域性の高い緑の保全**

植物保全検討会にて、審議・選定  
※ 検討会メンバー：学識者3名 他関係機関

地域性の高い草本植物			生態	生育確認(H24・夏~H25・夏)					
No	科目	種目	アセス 注目種	環A・B	1号公園	2号公園	3号公園	変更 区域等	
1	マツバラン	マツバラン	○						
2		オオハナワラビ				●	●	●	
3	ハナヤスリ	ナガホノナツノワラビ		●					
4		フユノハナワラビ				●	●	●	
5		ナツノハナワラビ	○	●		●	●	●	
6	コバノイシカグマ	オオレンシダ	○						
7		イワヒメワラビ	○						
8	ホングウシダ	ホラシノブ	○						
9		ベニシダ						●	
10	オシダ	オオベニシダ							
11		オオイタチシダ							
12		ヤマイタチシダ				●			
13		アイアスカイノデ	○						
14	メシダ	イヌガンソク							
15		クサソテツ		●		●		●	
16		コウヤワラビ							
17	タデ	シンミズヒキ	○			●			
18	オトギリソウ	オトギリソウ						●	
19		ヒメキンミズヒキ							
20	バラ	ダイコンソウ							
21		キジムシロ							
22		ミツバツチグサ		●			●		
23		ワレモコウ							
24	ウリ	スズメウリ		●				●	
25	セリ	ヤマゼリ							
26		ウマノミツバ							
27	アカネ	ハシカグサ							
28		メハジキ							
29	シソ	ヤマハッカ				●			
30		イヌゴマ							
31		ニガクサ		●					
32	ゴマノハグサ	コシオガマ							
33	トウダイグサ	ニシキソウ	○						
34	ガガイモ	ヨイケマ	○					●	
35	ハマウツボ	ナンバンギゼル		●					
36	ユリ	ヒメヤブラン		●		●	●	●	
37		アマドコロ	○					●	
38	ツククサ	ヤブミョウガ		●		●			
39	カヤツリグサ	アオガヤツリ	○						
40		シラン	○					●	
41		エビネ	○						
42		ギンラン	○						
43		キンラン	○						
44		ササバギンラン	○						
45		タシロラン	○						
46		サイハイラン		●		●			
47		シュンラン							
計(種)					10	0	11	5	12

【原則】  
現況  
保存

公園計画の際、  
保存等に配慮

宅地整備等の対処区域における草本木の移植(保全)方針